

認定こども園

帯広の森幼稚園

遊んで学ぶ 学んで育つ

～小さな冒険はじめよう～



園長便り

令和2年度 No.15 (2020年11月26日発行)

園長：今野隆雄

数多くの「感動のステージ」
「感動のドラマ」が展開された

第23回発表会！

11月14日(土)、15日(日)

14日(土)、15日(日) 第23回の発表会を行いました。

新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中、父母の皆様のご理解とご協力を頂き、無事終えることができました。PTA役員の皆様には、朝早くからお手伝い頂き、ありがとうございました。参観頂いた父母の皆様には、一人一人の子ども達に温かい心温まる拍手を頂き、又、一人一人の子ども達が創り出す「感動のステージ」「感動のドラマ」を盛り上げて頂き、本当にありがとうございました。



一人一人の子ども達は、一生懸命頑張ってきた努力が、お父さん・お母さん方に認められ、励ましの大きな拍手を頂き、力強い「自信」になったことと思います。発表会の練習過程で恐らく各ご家庭で練習の様子を話し、お父さん・お母さん方からも励ましの助言やアドバイスを頂き、一人一人の子ども達を支えて頂いたのではないかと思います。陰からのご指導ありがとうございました。

発表会の練習が高まっていく中で、子ども達一人一人の中からも「クラスの出し物」を少しでも素晴らしいものにしていこうとする気運が高まり、クラス全体の“雰囲気”“空気”“ムード”が一人一人の子ども達の中から『支持的な（みんなで支えていく）』『受容的（みんなで受け止めて、助けていく）』雰囲気・空気・ムードに変わっていき、クラス全体が「自分だったらどうするか」という主人公意識を持って、「劇」のセリフ、動作「歌」の題名、手話を取り入れてのやり方等々、先生と子ども達で考えて、創り出したところもあるようです。



このような練習過程と創作過程が、一人一人の子ども達の「やる気」「自信」「態度」が発表会当日の素晴らしいステージとなつのではないのでしょうか。そして、「感動のステージ」「感動のドラマ」へと高まっていったことと思います。

そして、「感動のステージ」「感動のドラマ」を観覧された父母の皆さんは、今までのお子さんの“成長”“発達”とダブリ、感激・感動されて、目頭が熱くなり、そっとハンカチで拭う光景が会場のアチコチで見受けられました。

一人一人の子ども達は、どの子もみんな「思いっきり」「思う存分」「力いっぱい」一生懸命頑張った発表会。そして、数多くの「感動ステージ」「感動ドラマ」が展開された発表会。

この素晴らしい発表会を体験・経験した一人一人の子ども達は、“大きく”“たくましく”飛躍しました。そして、この「自信」と「やる気」がこれからの「保育活動」「教育活動」に活かされていくことと思います。

父母の皆様には、「感動のステージ」「感動のドラマ」を盛大な拍手で盛り上げて頂き、ありがとうございました。

もりのこ！
みんなでやれば
なんでもできる

